

# やまと 民俗への招待

鹿谷 勲

1986年11月のある日の夕方、県立病院の産婦人科に駆けつけた。ナースセンターには人はいなかった。心臓の拍動だけが響いていた。不意にその音が途切れ、しばらくするといふと、女医さんが緊迫した表情で姿を見せた。早期胎盤剥離で破水し、仮死出産だったが、子供は無事だった。そう豆型に曲がった臍<sup>ナシ</sup>盆に広がる赤黒い胎盤剥離で、女医さんは緊迫した表情で姿を見せた。早期胎盤剥離で破水し、仮死出産だったが、子供は無事だった。そう豆型に曲がった臍<sup>ナシ</sup>盆に広がる赤黒い胎盤剥離で、女医さんは緊迫した表情で姿を見えた。早期胎盤剥離で破水し、仮死出産だったが、子供は無事だった。そう豆型に曲がった臍<sup>ナシ</sup>盆に広がる赤黒い胎盤剥離で、女医さんは緊迫した表情で姿を見えた。

胎盤剥離で破水し、仮死出産だったが、子供は無事だった。そう豆型に曲がった臍<sup>ナシ</sup>盆に広がる赤黒い胎盤剥離で、女医さんは緊迫した表情で姿を見えた。早期胎盤剥離で破水し、仮死出産だったが、子供は無事だった。そう豆型に曲がった臍<sup>ナシ</sup>盆に広がる赤黒い胎盤剥離で、女医さんは緊迫した表情で姿を見えた。



1692(元禄5)年刊の『女重宝記』の挿図。右上に「どりあひばせ」、左下に「塙水をうち、押桶をうつむ所」とある

## ヨナを家に埋めること

胎盤は、前回述べたように胎兒の後に出るので後産<sup>うしろさん</sup>というが、奈良県内ではヨナともエナ(胞衣)ともいう。後産の処理については、1980、81(昭和55、56)年度に実施された県内150地区の民俗文化分布緊急調査(県教委実施)が最も広く集めた。それによれば

所ど、家の中に埋めると埋める場所は墓地の一郭やヨナ墓・ヨナ壺・ヨナ井戸・ヨナ敷など、家を離れた場所へ、

屋敷内の畠の隅、便所の踏み石の下、玄関の敷き土間の下や二つ(土間)とする所が多い。家の裏口の内側に男、外側に女をと、

男女で埋める場合がある。場所が変わる土地もある。屋内の唐臼(踏み臼)の踏む場所や、臼と踏む所の間と踏む所の間とする所もある。よく踏む所に埋めると頭の固い賢い子になる、忍耐強い子になるといい、最初に踏んだ者を畏れるの

井町の旧上田家住宅の修理工事現場で、家の二ワ(十間)に胞衣を埋めたと思われるものが多数出土したのを実見した。直径20センチ前後のホウラクを底と蓋にして、十字や米印にひもで縛ったものが埋めてあり、13方所の穴から16セットのホウラクが出てきた。時期は18世紀中頃から19世紀末のものとされた。今井町では、荒物屋で専用のホウラクが売られていたという。

ヨナを人の踏まない棧板2枚に挟んで便所に吊り下げたと聞いたことがあるが、にわかに信じられない思いだった。同じ東吉野村で、ヨナを棧板に挟んで縁側の床下に置いて乾燥させたというから納得できた。90年1月に、橿原市今井町の旧上田家住宅の修理工事現場で、家の二ワ(十間)に胞衣を埋めたと思われるものが多数出土したのを実見した。直径20センチ前後のホウラクを底と蓋にして、十字や米印にひもで縛ったものが埋めてあり、13方所の穴から16セットのホウラクが出てきた。時期は18世紀中頃から19世紀末のものとされた。今井町では、荒物屋で専用のホウラクが売られていたという。

ヨナを人の踏まない棧板2枚に挟んで便所に吊り下げたと聞いたことがあるが、にわかに信じられない思いだった。同じ東吉野村で、ヨナを棧板に挟んで縁側の床下に置いて乾燥させたというから納得できた。90年1月に、橿原市今井町の旧上田家住宅の修理工事現場で、家の二ワ(十間)に胞衣を埋めたと思われるものが多数出土したのを実見した。直径20センチ前後のホウラクを底と蓋にして、十字や米印にひもで縛ったものが埋めてあり、13方所の穴から16セットのホウラクが出てきた。時期は18世紀中頃から19世紀末のものとされた。今井町では、荒物屋で専用のホウラクが売られていたという。

ヨナを人の踏まない棧板2枚に挟んで便所に吊り下げたと聞いたことがあるが、にわかに信じられない思いだった。同じ東吉野村で、ヨナを棧板に挟んで縁側の床下に置いて乾燥させたというから納得できた。90年1月に、橿原市今井町の旧上田家住宅の修理工事現場で、家の二ワ(十間)に胞衣を埋めたと思われるものが多数出土したのを実見した。直径20センチ前後のホウラクを底と蓋にして、十字や米印にひもで縛ったものが埋めてあり、13方所の穴から16セットのホウラクが出てきた。時期は18世紀中頃から19世紀末のものとされた。今井町では、荒物屋で専用のホウラクが売られていたという。

ヨナを人の踏まない棧板2枚に挟んで便所に吊り下げたと聞いたことがあるが、にわかに信じられない思いだった。同じ東吉野村で、ヨナを棧板に挟んで縁側の床下に置いて乾燥させたというから納得できた。90年1月に、橿原市今井町の旧上田家住宅の修理工事現場で、家の二ワ(十間)に胞衣を埋めたと思われるものが多数出土したのを実見した。直径20センチ前後のホウラクを底と蓋にして、十字や米印にひもで縛ったものが埋めてあり、13方所の穴から16セットのホウラクが出てきた。時期は18世紀中頃から19世紀末のものとされた。今井町では、荒物屋で専用のホウラクが売られていたという。

ヨナを人の踏まない棧板2枚に挟んで便所に吊り下げたと聞いたことがあるが、にわかに信じられない思いだった。同じ東吉野村で、ヨナを棧板に挟んで縁側の床下に置いて乾燥させたというから納得できた。90年1月に、橿原市今井町の旧上田家住宅の修理工事現場で、家の二ワ(十間)に胞衣を埋めたと思われるものが多数出土したのを実見した。直径20センチ前後のホウラクを底と蓋にして、十字や米印にひもで縛ったものが埋めてあり、13方所の穴から16セットのホウラクが出てきた。時期は18世紀中頃から19世紀末のものとされた。今井町では、荒物屋で専用のホウラクが売られていたという。

ヨナを人の踏まない棧板2枚に挟んで便所に吊り下げたと聞いたことがあるが、にわかに信じられない思いだった。同じ東吉野村で、ヨナを棧板に挟んで縁側の床下に置いて乾燥させたというから納得できた。90年1月に、橿原市今井町の旧上田家住宅の修理工事現場で、家の二ワ(十間)に胞衣を埋めたと思われるものが多数出土したのを実見した。直径20センチ前後のホウラクを底と蓋にして、十字や米印にひもで縛ったものが埋めてあり、13方所の穴から16セットのホウラクが出てきた。時期は18世紀中頃から19世紀末のものとされた。今井町では、荒物屋で専用のホウラクが売られていたという。